

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小俣 邦正
 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,586	△32.6	△74	—	△94	—	△1,333	—
23年3月期第3四半期	6,801	53.3	100	—	76	—	45	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1,364百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△216.57	—
23年3月期第3四半期	7.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,342	5,628	54.4
23年3月期	11,860	7,054	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,628百万円 23年3月期 7,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,174	△22.2	△38	—	△51	—	△1,308	—	△212.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,499,000 株	23年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	340,242 株	23年3月期	340,188 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,158,764 株	23年3月期3Q	6,158,843 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧とともに企業の生産活動は持ち直しつつあるものの、長期化する円高、海外経済の減速感の強まり、タイ洪水による影響、雇用環境に対する先行き不安を背景とした個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、自動車やスマートフォンの関連市場が、水晶デバイス業界や電子部品業界を下支えしたものの、全体としての稼働状況を押し上げるまでには至らず、機械装置などへの設備投資に対する動きは引き続き慎重なまま推移しました。

こうした環境の中、当社グループは、中国、台湾を中心としたアジア市場へ積極的に受注・販売活動を展開してまいりましたが、厳しい状況が続きました。

生産面では、上海子会社を中心にグローバル調達を推進し、引き続き原価低減に努めました。

損益面では、固定費削減継続して推進しましたが、売上の絶対量が少なく固定費をカバーすることができませんでした。また、資産効率改善の一環として、当社の営業所・大野台第二工場及び大野台パーツセンターの機能を本社・相模原工場に集約する方針を固めたことに伴い、当第3四半期会計期間において減損損失10億27百万円を計上いたしました。さらに、今後の業績推移を鑑み、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産2億8百万円の取り崩しを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高48億28百万円（前年同四半期比29.4%減）、売上高45億86百万円（同32.6%減）となりました。

損益につきましては、経常損失94百万円（前年同四半期は76百万円の経常利益）、四半期純損失は13億33百万円（前年同四半期は45百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注高は39億82百万円（前年同四半期比33.9%減）、売上高は37億40百万円（同37.5%減）、セグメント利益は3億76百万円（同39.0%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

（水晶デバイス装置）

水晶デバイス業界では、最新装置を中心に積極的に営業活動をしてまいりましたが、引き続き設備投資に対する動きは鈍く、受注・売上ともに厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は21億68百万円（前年同四半期比44.4%減）、売上高は14億3百万円（同66.0%減）となりました。

（光学装置）

光学業界では、受注面では、アジアを中心とした海外市場へ営業展開を進めてまいりました。また、売上に関しては、概ね順調に推移しました。

光学装置の受注高は6億29百万円（前年同四半期比3.6%増）、売上高は12億72百万円（同204.4%増）となりました。

（電子部品装置・その他装置）

電子部品業界では水晶デバイス業界同様に、依然として装置等への設備投資に対する動きが慎重であり、受注・売上ともに厳しい状況になりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億84百万円（前年同四半期比22.0%減）、売上高は10億63百万円（同25.8%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、西日本拠点や上海子会社を中心に、引き続き修理・改造などの引き合いにも積極的に対応してまいりました。さらに、株式会社エフ・イー・シーが製造・販売する歯のない歯車「マグトラン」も積極的な営業活動を展開してまいりました。しかしながら、装置販売の低迷の影響を受け、苦戦いたしました。

サービス事業の売上高は8億45百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は1億53百万円（同3.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は64億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億89百万円減少いたしました。これは主に仕掛品が6億85百万円、原材料及び貯蔵品が94百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が7億74百万円、現金及び預金が2億49百万円、繰延税金資産が2億8百万円減少したことによるものです。固定資産は、38億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億28百万円減少いたしました。これは主に一部有形固定資産が減損損失の計上により10億24百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は103億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億18百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が5億50百万円増加したものの、1年内償還予定の社債が10億円、支払手形及び買掛金が1億73百万円減少したこと等によるものです。固定負債は19億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億10百万円増加いたしました。これは主に、社債が8億円、長期借入金が4億38百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、47億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は56億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億25百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が13億95百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.4%（前連結会計年度末は59.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の推移を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年9月15日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を変更しております。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日別途開示致します「特別損失の計上、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,108	662,776
受取手形及び売掛金	3,774,725	2,999,786
有価証券	79,863	78,590
商品及び製品	9,796	7,892
仕掛品	1,569,691	2,255,487
原材料及び貯蔵品	250,678	345,407
繰延税金資産	208,871	—
その他	52,504	118,965
貸倒引当金	△1,827	△1,690
流動資産合計	6,856,411	6,467,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,088,689	852,406
機械装置及び運搬具(純額)	89,092	63,461
土地	3,559,977	2,714,527
その他(純額)	34,476	75,145
有形固定資産合計	4,772,235	3,705,540
無形固定資産		
のれん	3,461	—
その他	95,314	73,332
無形固定資産合計	98,775	73,332
投資その他の資産		
投資有価証券	110,940	74,502
その他	102,274	101,945
貸倒引当金	△79,722	△79,731
投資その他の資産合計	133,492	96,717
固定資産合計	5,004,504	3,875,590
資産合計	11,860,915	10,342,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729,350	1,555,916
短期借入金	—	550,000
1年内返済予定の長期借入金	700,380	247,900
1年内償還予定の社債	1,000,000	—
未払法人税等	29,629	10,886
賞与引当金	140,950	52,313
役員賞与引当金	18,000	—
製品保証引当金	107,000	72,000
工事損失引当金	15,500	65,500
その他	332,911	216,791
流動負債合計	4,073,722	2,771,307
固定負債		
社債	—	800,000
長期借入金	61,410	500,000
退職給付引当金	491,911	505,916
繰延税金負債	20,099	5,053
その他	159,262	131,847
固定負債合計	732,683	1,942,817
負債合計	4,806,405	4,714,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,451,129	1,055,562
自己株式	△278,068	△278,091
株主資本合計	7,104,140	5,708,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,753	△12,781
為替換算調整勘定	△58,383	△67,087
その他の包括利益累計額合計	△49,630	△79,869
純資産合計	7,054,509	5,628,682
負債純資産合計	11,860,915	10,342,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,801,236	4,586,337
売上原価	5,543,232	3,650,069
売上総利益	1,258,003	936,267
販売費及び一般管理費	1,157,650	1,010,952
営業利益又は営業損失(△)	100,353	△74,684
営業外収益		
受取利息	2,093	1,188
受取配当金	886	301
受取賃貸料	15,223	12,903
保険配当金	—	12,647
作業屑等売却益	2,433	704
その他	9,676	3,333
営業外収益合計	30,313	31,079
営業外費用		
支払利息	35,594	20,874
売上債権売却損	10,344	9
社債発行費	—	17,086
その他	8,382	12,560
営業外費用合計	54,320	50,530
経常利益又は経常損失(△)	76,345	△94,135
特別利益		
固定資産売却益	29	—
固定資産受贈益	—	7,082
特別利益合計	29	7,082
特別損失		
固定資産除却損	—	103
減損損失	—	1,027,777
特別損失合計	—	1,027,880
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	76,375	△1,114,934
法人税、住民税及び事業税	6,508	10,001
法人税等調整額	24,687	208,871
法人税等合計	31,195	218,872
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	45,180	△1,333,806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,180	△1,333,806

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	45,180	△1,333,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,731	△21,534
為替換算調整勘定	△28,134	△8,703
その他の包括利益合計	△34,865	△30,238
四半期包括利益	10,315	△1,364,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,315	△1,364,045

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,985,881	815,355	6,801,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,980	—	15,980
計	6,001,861	815,355	6,817,216
セグメント利益	617,421	148,328	765,750

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	765,750
のれんの償却額	△5,192
全社費用(注)	△660,204
四半期連結損益計算書の営業利益	100,353

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,740,376	845,960	4,586,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94,303	17,682	111,985
計	3,834,680	863,643	4,698,323
セグメント利益	376,499	153,000	529,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	529,500
セグメント間取引消去	△11,620
のれんの償却額	△3,461
全社費用(注)	△589,103
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△74,684

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「真空技術応用装置事業」セグメントにおいて、土地、建物の用途変更に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は10億27百万円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,403,725	34.0
光学装置	1,272,666	304.4
電子部品装置	1,000,333	75.5
その他装置	63,652	58.6
真空技術応用装置事業計	3,740,376	62.5
サービス事業		
部品販売	649,495	124.6
修理・その他	195,512	66.4
サービス事業計	845,007	103.6
合計	4,585,384	67.4

- (注) 1. 上記金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	2,168,536	55.6	1,351,877	129.5
光学装置	629,458	103.6	691,620	215.7
電子部品装置	1,121,277	77.9	2,650,835	89.0
その他装置	63,652	79.0	—	—
真空技術応用装置事業計	3,982,924	66.1	4,694,332	107.9
サービス事業				
部品販売	650,448	124.8	—	—
修理・その他	195,512	66.4	—	—
サービス事業計	845,960	103.8	—	—
合計	4,828,885	70.6	4,694,332	107.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,403,725	34.0
光学装置	1,272,666	304.4
電子部品装置	1,000,333	75.5
その他装置	63,652	58.6
真空技術応用装置事業計	3,740,376	62.5
サービス事業		
部品販売	650,448	124.8
修理・その他	195,512	66.4
サービス事業計	845,960	103.8
合計	4,586,337	67.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。